



高橋まゆみさん

●教育委員会の委員の任命
に同じ同意を求めることに
ついて
3月31日付けで辞職した
古川順子さんの後任として、
高橋まゆみさん(48) 〓 畑 〓
を、教育委員会の委員に任
命しようとするものです。

原案に同意



村瀬誠さん

●人権擁護委員候補者の推
せんに関し意見を求めるこ
とについて
6月30日で任期が満了す
る村瀬誠さん(65) 〓 柏台
三丁目 〓を、再び人権擁護
委員に推薦しようとするも
のです。

適任と決定

●副市長の選任に関し同意
を求めることについて
3月31日付けで退職した
武田常徳さんの後任として、
八幡平市前企画総務部長の
岡田久さん(60) 〓 館腰 〓
を、副市長に選任しよう
とするものです。



岡田久さん

原案可決

●平成24年度八幡平市一般
会計補正予算(第9号)
歳入歳出それぞれ840
1万円を増額するものです。
主な歳出は次のとおりです。

- 公共施設整備基金積立金 2億5022万円
- 財政調整基金積立金 2億5013万円
- 西根病院事業会計負担金 5095万円
- 水道事業会計補助金 1524万円

- 道路施設点検業務委託料 2050万円
- 市営住宅屋根外壁改修工事 2800万円



東日本大震災から2年を迎えた3月11日には、会議を一時中断し、
議場で出席者全員が黙とうをささげました

3月定例会 開催

平成25年市議会第1回定例会(3月定例会)を2月21日から3月22日までの30日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、田村正彦市長が「施政方針演述」を行ったほか、5会派の会派代表質問と10人による一般質問、25年度一般会計予算をはじめとする議案審議を行い、全38議案を原案のとおり承認・可決しました。ここでは、3月定例会の主な内容を紹介します。

25年度予算はじめ 38議案承認・可決

市長施政方針演述

八幡平市は合併8年目に入り、私の2期目の市政運営のかじ取りは、最終年を迎えています。



合併時につくられた新市建設計画を基に策定した市総合計画に「農と輝の大地」の創造・実現のため、新たに必要となった施策も柔軟に取り入れ、着実に事業の推進を図ってきました。

平成23年に五つの重点施策を掲げ、5カ年計画として策定した市総合計画後期基本計画は3年目を迎えます。今年からはまさに計画の仕上げの時期となり、その着実な推進が、今後の私に課せられた使命です。

引き続き、五つの重点施策の「定住化の促進」「第1次産業の生産力向上」「大更駅周辺のにぎわい創出」「合宿の里づくり」「滞在型観光の推進」を中心に、事業に誠心誠意取り組んでいきます。

八幡平市長 田村正彦

▼西根第一中学校校舎改修工事 1億2471万円

●平成24年度八幡平市一般会計補正予算(第10号)
歳入歳出それぞれ1996
3万円を増額するもので、
主な歳出は養豚経営安定対
策事業費補助金(512万
円)などです。

※今回の定例会では、5特別会計と2企業会計の補正予算も原案のとおり可決しました。

●八幡平市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例
東日本大震災復興に寄与する事業者の固定資産税を免除しようとするものです。

●八幡平市新型インフルエンザ等対策本部条例
市の新型インフルエンザなど対策本部について、整備しようとするものです。

問 毎年発生しているインフルエンザとの関わりはありますか。

答 国が緊急事態宣言を出した場合、市に対策本部を設置するものです。

●八幡平市暴力団排除条例

市民生活の安全と平穩を確保するため、暴力団排除に関して、基本となる理念を定めようとするものです(4月1日施行)。

●八幡平市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例
市内の準用河川に設ける河川管理施設などの構造について、管理上必要とされる基準を定めようとするものです(4月1日施行)。

●八幡平市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
道路の占用区分を改め、占用料の額を改定するもの

●八幡平市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
浄化槽処理排水の敷設による占用料を減免できるようにするものです(4月1日施行)。

●八幡平市宮住宅条例の一部を改正する条例
入居者資格の特例措置の範囲を拡大するため、整備をするものです(4月1日施行)。

です(4月1日施行)。

問 破損している看板や、のぼり旗などへの対応はどのようにしていきますか。

答 景観上古くなったものについては、他の被害も想定されますので、撤去していただくなど、設置した団体などに指導していきます。

●八幡平市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
浄化槽処理排水の敷設による占用料を減免できるようにするものです(4月1日施行)。

●八幡平市宮住宅条例の一部を改正する条例
入居者資格の特例措置の範囲を拡大するため、整備をするものです(4月1日施行)。

部を改正する条例
入居者資格の特例措置の範囲を拡大するため、整備をするものです(4月1日施行)。

問 25年度に予定されている市営仲町住宅の建て替えは、この条例改正に基づいて行われるのですか。

答 日当たりがよくなるような形で交渉を行っています。利便性を考慮した建て替えをしていきます。

●八幡平市看護師養成修学資金貸付条例
市内医療施設の看護師確保を図るため、市民または保護者の住所が市内にある看護学校などに在学する人に、月額8万円を上限に修学資金を貸し付ける条例です(4月1日施行)。

問 医師養成修学資金貸付条例では、保証人が2人です。この条例も3人ではなく2人にすべきではないでしょうか。

答 保護者を含めて3人を確保していただきたいと考えています。

※保証人を2人にして、修正可決しました。



市では、看護師を目指す学生の養成を進めます
(昨年度西根病院で行われたふれあい看護体験)

●八幡平市看護師養成修学資金貸付条例
市内医療施設の看護師確保を図るため、市民または保護者の住所が市内にある看護学校などに在学する人に、月額8万円を上限に修学資金を貸し付ける条例です(4月1日施行)。



4月1日付新採用職員の方(医師を除く)。(左から)松浦広大(西根病院薬剤師)、佐々木利也(農政課主事補)、佐々木芳輝(建設課主事補)、関口智恵理(地域福祉課主事補)、丹内仁美(市民課主事補)、佐藤啓太(市民課主事補)、古川忠彦(商工観光課主事)

予算特別委員会

25年度一般会計は
196億700万円

合併後最大・前年度比12億8,600万円(7.0%)増

予算特別委員会(古川津好委員長、立花安文副委員長)を3月11、14、15、18、19日に開催しました。同委員会は瀬川健則議長を除く全議員23人で構成し、平成25年度一般会計予算(総額196億700万円)のほか、6特別会計、2企業会計の予算を審査しました。ここでは、予算特別委員会での主な質疑などを紹介します。

請願1件を不採択
発議案4件を可決

第1回定例会では、請願1件を審査し「不採択」と決定したほか、議員発議による条例改正など4件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

請願

■総務常任委員会審査

◎消費税増税に反対する請願書(請願者Ⅱくらしを考

えるネットワーク代表者・

高橋克公) 国は消費税増

税をやめるように慎重審議

をすることを求める内容

▼結果 不採択(社会保障

と税の一体改革に係る法律

は、既に成立されている

ものです。今回の増税は

国民生活を守り、将来の世

代につけを回さないための

ものであるとともに、東日

本大震災の復興への財源も

支えようと考えます)

▼本会議の審議結果 賛成

少数で「不採択」に決定

議員発議

■八幡平市議会の政務調査

費の交付等に関する条例の

一部を改正する条例(提出

者Ⅱ議会運営委員長・伊藤

一彦) 政務調査費を政務

活動費に名称変更し、経費

の範囲などについて規定す

るもの

▼本会議の審議結果 全会

一致で原案可決

■八幡平市議会議員定数条

例の一部を改正する条例、

八幡平市議会議員の議員報

酬及び費用弁償等に関する

条例の一部を改正する条例

(提出者Ⅱ議会改革調査特

別委員長・古川津好) 詳

しくは、2・3ページ

▼本会議の審議結果 いず

れも賛成多数で原案可決

■八幡平市議会会議規則の

一部を改正する規則(提出

者Ⅱ議会運営委員長・伊藤

一彦) 詳しくは、2・3

ページ

▼本会議の審議結果 全会

一致で原案可決

平成25年八幡平市議会第1回定例会 賛否の分かれた議案などの採決結果一覧

議案名 議員名	議案第27号 平成25年度八幡平市 一般会計予算	議案第31号 平成25年度八幡平市 国民健康保険西根病 院事業会計予算	発議案第2号 八幡平市議会議員定 数条例の一部を改正 する条例	発議案第3号 八幡平市議会議員の 議員報酬及び費用弁 償等に関する条例の 一部を改正する条例	請願第1号 消費税増税に反対す る請願書
1 立花 安文	○	○	○	○	●
2 大森 力男	○	○	○	○	●
3 渡辺 義光	○	○	○	○	●
4 工藤 剛	○	○	○	○	●
5 渡邊 正	●	○	○	○	●
6 高橋喜代春	●	○	○	○	●
7 遠藤 公雄	○	○	○	○	●
8 古川 津好	○	○	○	○	●
9 小野寺昭一	○	○	○	○	●
10 田村 孝	○	○	○	○	●
11 田中榮司夫	○	○	○	○	●
12 高橋 守	○	○	○	○	●
13 伊藤 一彦	○	○	○	○	●
14 高橋 悦郎	●	●	○	○	○
15 小笠原壽男	○	○	○	○	●
16 関 善次郎	○	○	○	○	●
17 三浦 侃	○	○	○	○	●
18 松浦 博幸	○	○	○	○	●
19 大和田順一	○	○	○	●	●
20 高橋 光幸	○	○	●	○	●
21 米田 定男	●	●	○	○	○
22 北口 和男	○	○	○	○	●
23 工藤 直道	○	○	○	○	●

※○=賛成、●=反対。瀬川健則議長は採決には加わりません

一般会計歳入

一般会計歳出

問 国道282号西根バイパスの用地交渉は24年度で全て終わるのですか。

答 地権者89人中、数人が未契約となっています。

問 入湯税の予算額には、2月に策定した滞在型観光計画の目標「観光客入り込み数に占める宿泊の割合20%」が反映されていますか。

答 ここ数年減少が続いていましたが、24年度が回復傾向にあることから、前年度比4・8%増を見込んでいます。

問 市債の民生費の中で、過疎対策債約1億円はどのように使われますか。

答 重度障害者医療費助成に約4630万円、乳幼児医療費助成に約5680万円を充てるものです。

問 3年連続で市の借金が増えています。今後の見通しをどのように考えていますか。

答 地方交付税措置され、有利な借金である合併特例債や過疎対策債を充てて事業を進めています。実質公債費率は15%前後を目標にしています。

総務費

問 行政改革による投票区（投票所）の見直し計画は、市民視点に立って、いかに投票しやすいようにするかを考えたものでしょうか。

答 原案の段階で市民視点は念頭に置いています。住民説明会を行い、市民から意見を聞きながら進めます。

問 コンビニエンスストアで市税などを納付できるようですが、その内容を伺います。

答 市民税や軽自動車税、学校給食費、水道料金など10種類を想定し、26年度から予定をしています。

問 地域おこし協力隊にどのような活動をしてもらう予定ですか。

答 定住促進を図るもので25年度は2人募集する予定です。教育観光活動など地域活性化につながるものを考えています。

民生費

問 出合い支援事業の予定内容は決まっていますか。

答 昨年度同様パーティー

消防費

問 団員が30人に満たない分団もあり、小隊訓練ができない状況です。再編をどのように考えていますか。

答 24年度に実施したアンケート結果を受けて、検討していきます。

教育費

問 25年度の市内の小学校の複式学級の状況はどのようになっていますか。

答 平笠小学校が全校で3学年、田山小学校は4学年が複式学級になります。

災害復旧費

問 凍上災害査定で認定されない箇所、傷んでいる道路補修はどうなりますか。

答 安全性も考慮しながら通常の維持管理で補修していきます。

特別・企業会計

■ 国民健康保険西根病院事業会計

形式ですが、年4回の実施に増やすことにしています。

問 生活保護世帯の推移はどうなっていますか。

答 1月現在148世帯・199人で、ほぼ横ばいに推移しています。

衛生費

問 自殺予防相談員はどのような業務を行うのですか。

答 看護師の資格を持つている人で、主に電話相談などを受けるものです。

問 資源ごみの分別の見直しは検討しないのですか。

答 環境基本計画を策定時に議論しましたが、結論に至りませんでした。住民の負担もありますが、前向きに検討します。

労働費

問 緊急雇用創出事業の中の情報発信に関するものは全て同じ委託先ですか。

答 八幡平FAN情報発信事業は岩手めんこいテレビ、観光資源情報発信事業は市商工会に委託する予定です。

農林水産業費

問 25年度の八幡平市の米の作付け面積を94診増やす

ことになっている要因は何ですか。

答 県農業再生協議会が25年産の八幡平市の生産量を多く増やしたのに加え、24年度の作付け面積の未達成分によるものです。売れる米づくりの産地として、生産量を達成できるように認定方針作成者や農協などにお願しているところです。

問 「人・農地プラン」を作成した集落と、作成した集落の中で位置付けられる青年就農給付金の支援内容を伺います。

答 プランを作成したのは、大石平、山小沢、中村、両沼、渋川の五つです。青年就農給付金は、新規就農する農業者に年間150万円を支援し、農業を始めてから年間250万円の農業所得となるまで最長5年間助成します。

商工費

問 八幡平国立公園という看板が少なくなっているのではないのでしょうか。

答 老朽化により取り払われているものです。県と協議していますが、早急には対応できない状況です。

討 論

■一般会計

反対 高橋悦郎議員

都市計画道路大更駅前線調査設計検討業務8,697万円は、概算事業費を示さないまま予算計上されているのは認められません。また、3年連続で借金額が借金返済額を上回る予算は、今後の財政運営を危惧するものです。そして、新庁舎建設には反対であり、本格的に建設に要する予算約13億3,000万円が計上されていることから、25年度予算に反対します。

■国民健康保険西根病院事業会計

反対 米田定男議員

患者の立場に立った病院経営には評価したいと思うが、約11億4,000万円の内部留保資金がありながら、一般会計から8,000万円の繰り入れを行うのは排除すべきです。地方公営企業法では、収入が不足する場合のみに繰り入れを限定しています。また、企業債残高約2,600万円を上回る積立金の運用は、今年度の償還額870万円に対し、積立金充当は330万円であり納付できません。25年度予算には反対します。

問 10億を超える内部留保資金がある中、どうして一般会計から繰り入れするのですか。

答 減価償却費が入っている、今後病院を移転新築すると減少していきます。

問 西根病院あり方検討委員会、病院の公設民営化は検討されませんでしたか。

答 議論はされましたが、市が直接運営することで検討が進んでいます。

総括質疑

問 将来の人口減少時代の到来とともに、公共施設が

老朽化し、管理費や修繕費が増大すると考えていますが、予算編成をどう考えていますか。

答 今後、社会資本の維持補修費の増加は想定されますが、財源確保や積立金などを活用し適時適切な維持補修を心掛けたいと考えています。

問 小中学校教育での課題は、基礎学力を身に付けることだと思いますが、学力向上のためだけに子どもたちに「もっと勉強しなさい」という状態が続くのは、競争に勝たなければならない

状況を作り、いじめ問題にも起因するのではないのでしょうか。

答 学力は生きる力、生きる力は「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成と考えています。市では、4・5年生が標準学力検査を実施していますが、その結果に基づいて教師が子どもたちの力を高めていくよう活用しています。ある程度競争しながら切磋琢磨することが大切ですが、一人一人の個性を尊重し、良い面を伸ばしてあげることが教育の本質と考えています。